

「道徳科教育拠点校事業」実践充実プラン		校長	明石 芳文	教員数	児童生徒数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計								
香美市立 舟入小学校		道徳教育推進教師	岡松 永祐	19		児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数					
研究テーマ		自分が好き、友達が好き、舟入が好きな児童の育成～教材や人との対話を通して、よりよい見方や考え方を育てる～																								
年度当初の学校の状況（5月調査を記載）		到達目標				中間検証（下半期に向けての改善事項）						年度末（2月）		到達目標達成状況												
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合（強い肯定的回答）の向上												現状		肯定%								
① 道徳の勉強は、すきだ		86.5%		① 「道徳の勉強は、すきだ」 90%以上向上												①		%								
② 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと（生き方）についてよく考えている		84.7%		② 「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと（生き方）についてよく考えている」 87%以上向上												②		%								
③ 家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている。		58.6%		③ 「家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む 高知の道徳」を読んだりしている」 70%以上向上												③		%								
④ 自分には、よいところがあると思う		86.5%		④ 「自分には、よいところがあると思う」 88%以上向上												④		%								
⑤ 将来の夢や目標をもっている		88.3%		⑤ 「将来の夢や目標をもっている」 90%以上向上												⑤		%								
⑥ 人が困っているときは、進んで助けている。		91.0%		⑥ 「人が困っているときは、進んで助けている」 92%以上向上												⑥		%								
⑦ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		86.5%		⑦ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」 90%以上向上												⑦		%								
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A（十分できた） B（おおむねできた） C（あまりできていない） D（全くできていない）												指標達成状況の分析												
取組項目		取組の評価指標				5月～8月				中間評価		9月～2月（中間検証を踏まえての追記・変更可）				達成状況				年度末評価						
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		◆研究推進部会、道徳運営部会をもって、研究体制の改善及び進捗管理を行う。（毎月2回以上） ◆各教科等、道徳教育との関連を整理し、各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証を行う。（3回以上） ◆管理職及び道徳教育推進教師並びに道徳推進リーダーが、毎週、全学級の道徳科の授業づくり及び授業参観を行う。				①道徳教育の全体計画（各学年の別業）、各学年の道徳科の年間指導計画の作成（4月）及び検証（7月）、道徳意識調査の結果に基づく協議・取組策の検討（6月）（研究推進部会4回）（道徳運営部会4回） ②道徳の内容と各教科等との関連について検証・道徳の時間の年間指導計画の評価欄への記入（事後研にて随時記入） ③既存の取組や総合的な学習の時間等、体験的学習との関連を図った授業実践及び道徳教育を充実させる取組の実施 ④管理職及び推進教師が、毎週、全道徳科の授業を参観できる体制の構築(4月)(火:1、5年 水:3年 木:2年、4年 金:6年)(各学年1時間) ⑥授業者と推進リーダーが、事前研→授業実施→事後研のサイクルにおいて、短時間で打合せする時間の確保(事前研 放課後)(事後研 火:1、5年 水:3年 木:2、4年 金:6年)						①道徳教育の全体計画、各学年の別業及び道徳科の年間指導計画に基づく実践及び検証（12月、2月）、道徳意識調査の検証を踏まえた取組改善策の取りまとめ（1月）（研究推進部会5回）（道徳運営部会5回） ②道徳の内容と各教科等との関連について検証・道徳の時間の年間指導計画の評価欄への記入（事後研にて随時記入） ③各教科等と関連させた道徳科（道徳教育）を充実させる取組についての協議（検証）と授業改善（研究推進部会、道徳運営部会） ④管理職及び推進教師が毎週全道徳科の授業参観、指導・評価(火:1、5年 水:3年 木:2年、4年 金:6年)(各学年1時間) ⑤授業者と推進教師による事前研→授業実施→事後研のサイクル化の定着と授業の質の向上（週1時間）(事後研 火:1、5年 水:3年 木:2、4年 金:6年)														
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		◆公開授業研究の案内を出し、授業についての意見をもらう。（6回以上） ・道徳授業チェック【教師用】 【児童用】の全項目を3、5以上にする。 ・ねらいの設定及び評価の在り方、話し合い活動について、舟入スタンダードチェック80%以上(平均10項目中8項目)にする。				①公開授業研究2回（4年、6年：6月14日森有希講師を招聘） ・道徳授業チェックシートの活用・集計・分析 ②道徳授業チェックシート（全教師、全児童）の結果及び道徳ノートを活用した個人内評価に係る協議・授業改善策の検討 ③教具の作成・活用、学習指導案、板書写真等の整理・保管 ④舟入スタンダードに沿った検証授業の実施 ⑦指定校の公開授業への参加（回、計名）						①公開授業研究4回（3年、5年：11月8日、1年：2月7日森有希講師、2年：3月6日島恒生講師を招聘） ・道徳授業チェックシートの活用・集計・分析 ②道徳授業チェックシート（全教師、全児童）の結果及び道徳ノートを活用した個人内評価に係る協議・授業改善策の検討 ②教具の作成・活用、学習指導案、板書写真等の整理・保管 ③ペア対話や思考ツールを活用した話し合い活動及び動作化、役割演技など表現活動の工夫についての検証と授業改善。 ④指定校の公開授業への参加（回、計名）														
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		◆道徳ノートの活用や授業評価を基に、自己を見つめ、個性の伸長につなげるための評価方法について研究を重ねる。 ◆授業評価を実施し、PDCAサイクルに基づいた見取りと点検を繰り返す。				①事前研において、道徳ノートや授業評価を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、各担任と推進教師で共有を図る。 ②1学期評価の実施及び通知表の記入→1学期の個人懇談で保護者に伝達→評価の在り方を校内で共有→2学期の評価について改善の実施						①事前研において、道徳ノートや授業評価を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握し、各担任と推進教師で共有を図る。 ②2学期評価の実施及び通知表の記入→2学期の個人懇談で保護者に伝達→評価の仕方を校内で共有→評価の在り方を校内で共有→3学期の評価の実施及び指導要録の記入→通知表及び指導要録の改善策を練り、次年度につなぐ。														
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		◆全学級公開による道徳参観日を実施（1回）し、保護者参加率を90%以上にする。 ◆学校の掲示板上に道徳コーナーを設け、月ごとに内容を新たに更新する。 ◆HPに道徳の研究部会を設置し、更新する。（学期に1回以上） ◆道徳だより、懇談会、コミュニティ・スクールにおいて研究の周知徹底、道徳の時間の支援体制の推進を図る。 (学校だより 毎月1回以上) (道徳だより 毎月1回以上)				①参加型の授業や保護者と子供による懇談会等を通して、児童、保護者、地域の方々とともに考える道徳参観日の実施（6月）「高知の道徳」の活用 ②学校だより、学級だより、道徳だより、HP等による推進活動 ・道徳参観日への参加の呼びかけと取組を道徳だより、HP等で発信 ・保護者参観アンケートの実施・取りまとめ・分析、取組成果の発信 ・道徳の授業の様子や笑顔の花束（全校いい所みつけ）や縦割り班活動、総合的な学習の時間における体験活動等、全教育活動における児童の道徳的実践の紹介 ・道徳教育の推進の計画や公開授業日と内容等の周知 ・なかよし保育園、山田養護学校、ワークセンター白ゆり、博愛園等の教育、福祉関係機関に学校だより、道徳だよりを配布する。（毎月1回） ③入学式・PTA総会・集会・始業式、終業式での校長の話、7月の学級懇談会で夏休みの宿題として保護者に説明、授業後の家庭学習として「高知の道徳」を活用 ④コミュニティ・スクールと連携を図り、道徳教育を推進するための部会において、参加型授業や道徳に関する読書活動を計画する。						①研究テーマに基づいた研究授業、研究協議を実施できるように研修の場を設定し、本校の道徳教育について考える機会をもつ。（職員研修4回） ②学校だより、学級だより、道徳だより、HP等による推進活動 ・道徳参観日への参加呼びかけと取組を道徳だより、HP等で発信 ・保護者参観アンケートの実施・取りまとめ・分析、結果の発信 ・道徳の授業の様子や笑顔の花束（全校いい所みつけ）や縦割り班活動、総合的な学習の時間における体験活動等、全教育活動における児童の道徳的実践の紹介 ・なかよし保育園、山田養護学校、ワークセンター白ゆり、博愛園等の教育、福祉関係機関に学校だより、道徳だよりを配布する。（毎月1回） ③集会・始業式、終業式での校長の話、12月の学級懇談会で冬休みの宿題として保護者に説明、授業後の家庭学習として「高知の道徳」を活用 ④コミュニティ・スクールと連携を図り、道徳教育を推進する部会において、参加型授業や道徳に関する読書活動を実施する。														

